

富山第一銀行奨学財団
助成研究報告書

2023

Report of
subsidized research
2023

富山第一銀行奨学財団

2023

助成研究報告書

公益財団法人富山第一銀行奨学財団の富山県内高等教育機関の先生方の学術研究等への助成事業の運営に当り、多くの皆様にご支援を頂いておりますことをまづもって御礼申し上げます。

当財団では、2006年（平成18年）より例年7月上旬に前年度に研究助成を受けられた先生方の研究成果発表会「研究助成セミナー」を開催しておりましたが、コロナ禍の制約により一時期開催を断念せざるを得なくなり、その代替として2021年7月より「(公財)富山第一銀行奨学財団助成研究報告書」を発刊・公開させて頂くこととしました。

その後はこれを機に＝本報告書が研究活動の更なる深化の一助となれば＝との思いから、「セミナー」開催の有無に拘わらず発刊・公開させて頂いております。

なお、本誌の編纂にあたり、教育機関の先生方並びに事務局の方々に大変ご苦勞をお掛けしましたことにつきまして厚くお礼申し上げます。

さて、当財団は1959年（昭和34年）に富山相互銀行（現、富山第一銀行）の社長・初代金岡又左衛門氏の死去に伴い御遺族からの弔慰金500万円の寄付と銀行からの500万円の計1,000万円を基本財産として、富山県人で才能と将来性ある学生さん（高校生・大学生対象）へ奨学金の給・貸与を行って、人材育成に資する目的で財団法人富銀育英会が設立されたことからスタートしており、富山県内では最も古い財団の一つであります。

その後、基本財産は主に銀行及び銀行の関連会社、そしてその役職員・OBの方々からの寄付等により充実が図られてきました。一方で、事業目的は奨学金の給・貸与事業に加えて1984年（昭和59年）より主として富山県内の高等教育機関（高等学校・大学校）・教育関係諸団体等への設備・研究活動等への助成事業を加え、事業活動の充実を図ってきておりました。

このような中、令和3年度には行政庁の認定（新事業についての定款変更）を得て、科学技術・学術研究分野での秀れた研究成果を顕彰する「(公財)富山第一銀行奨学財団賞」を創設して、地域の公益財団として地方創生に資するべく新たな事業を展開することとしました。

これにより、当財団では、育英事業、助成事業、顕彰事業を財団運営の三本柱として鋭意取組んで参る所存であります。

最後になりますが、本誌に掲載されました研究成果が富山県内、更には我が国の産学官の関係者の皆様方及び教育関係者の皆様方で活用され、地域の、更には広く社会の発展に寄与することは勿論、その成果が「財団賞」（顕彰制度）の受賞にもつながっていくことを期待しております。

以上、引き続き当財団に対しましてご支援賜りますようお願い致しまして、本誌発刊のご挨拶と致します。



(公財)富山第一銀行
奨学財団
理事長 横田 格

当財団設立以来の主な事業の概要

(2023年(令和5年)6月現在)

1. 学生さんへの奨学金の給・貸与事業 (現在は大学・院生のみ)
1959年(昭和34年)～
奨学生累計365名(内訳:大学生223名 短大生29名 高専生5名 高校生108名)
2. 富山県内公・私立高等学校全校に対する設備・教育資機材導入への助成事業
(1984年(昭和59年)～2009年(平成21年))
延べ53校、助成額11,450千円
3. 富山県内教育関係諸団体(公益社団法人富山県教育会、富山県理科教育振興会、富山県家庭科教育振興会)への助成事業
1984年(昭和59年)～
延べ115団体、助成額17,760千円
4. 富山県内高等教育機関(富山大学、富山県立大学、富山国際大学、富山短期大学、富山高等専門学校(いずれも統合前を含む)及び高岡法科大学(令和4年度より))の先生方の研究活動への助成事業
1984年(昭和59年)～
延べ964研究、助成額487,300千円
5. 顕彰事業
 - (1). 第一回(令和4年度)「(公財)富山第一銀行奨学財団賞」の受賞者の決定と表彰式(2022年7月8日)
特別賞:富山大学 准教授 宮本 大祐 氏
研究テーマ
「アイトリング脳における記憶回路動態のイメージング・光操作研究」
努力賞:立山科学(株) 主任技師 竹内 道雄 氏
研究テーマ
「超音波散乱波の統計解析による生体組織内温度変化の非侵襲測定法の開発」
 - (2). 第二回(令和5年度)「(公財)富山第一銀行奨学財団賞」の受賞者の決定と表彰式(2023年7月7日)
特別賞:富山県立大学 准教授 古澤 裕之 氏
研究テーマ
「機能性素材による腸内細菌を介した免疫機能の調節と疾患予防」
奨励賞:富山大学 助教 廣島 渚 氏
研究テーマ
「宇宙物理学的アプローチによる暗黒物質についての理論研究」

以上

| | |
|--------------|---|
| 発刊に寄せて | 2 |
|--------------|---|

| |
|------|
| 富山大学 |
|------|

- ソクラテス式質問の作用機序の解明 - 「腑に落ちる」という現象に着目して
学術研究部人文科学系 講師 重松 潤 7
- 富山県内の幼少児の「健康・育ち・学び」を育む健康教育プログラムの作成と啓発活動
学術研究部教育学系 准教授 澤 聡美 11
- 景観遺伝学的分析による哺乳類の歴史探索
学術研究部理学系 准教授 山崎 裕治 19
- ラマン分光法を用いた加齢卵子の質低下の原因解明
学術研究部工学系 特命助教 小池 誠一 29
- 二酸化炭素からエタノールへの新規合成技術の開発
学術研究部工学系 准教授 楊 国輝 33
- 市販の水中ドローンと可搬型GPS 魚群探知機を用いた海底地質・地形調査法の開発
学術研究部都市デザイン学系 教授 佐野 晋一 39
- ホタルイカルシフェリンを用いた尿中アルブミン定量法の確立
学術研究部医学系 助教 石本 哲也 49
- 幼少期ストレス経験による不安・うつ発症メカニズム
学術研究部医学系 助教 中村 友也 57
- 脳病変部特異的な薬物送達を可能にするバイオリポソームの開発
学術研究部薬学・和漢系 助教 泉尾 直孝 63
- 嗅覚系を介したパブロフ型条件反射を基盤とする2型糖尿病とうつの防止法の開発
学術研究部薬学・和漢系 教授 恒枝 宏史 67
- 伝統的町家セルフリノベーションの教科書開発 - 高岡市吉久における学生シェアハウスづくりを通して -
学術研究部芸術文化学系 講師 藪谷 祐介 73

富山県立大学

- BMI 技術を用いたヒトの運動機能拡張に関する研究
工学部 知能ロボット工学科 講師 森重 健一 …… 83
- 形式概念分析と機械学習の融合による交通事故の解明・予測
工学部 情報システム工学科 教授 中村 正樹 …… 89
- 富山における河川水中浮遊ゴミの現況把握と水理モデルを用いた輸送特性の検討
工学部 環境・社会基盤工学科 准教授 久加 朋子 …… 99
- オゾンと過酸化水素を用いたCN-キトサン複合体による光触媒吸着反応の促進と
水中有機汚染物質除去への適用
工学部 環境・社会基盤工学科 准教授 黒田 啓介 …… 109
- 有機溶媒耐性微生物を利用した環境調和型物質生産システムの構築
工学部 生物工学科 講師 戸田 弘 …… 117
- ビタミンD 充足に向けた診断・予防法の開発
工学部 医薬品工学科 准教授 安田 佳織 …… 125
- 富山県における乳児を持つ母親における防災教育の課題
看護学部 看護学科 准教授 村田 美代子 …… 129

富山国際大学

- 北陸新幹線金沢開業8年・敦賀延伸前の沿線住民の意識調査
現代社会学部 現代社会学科 准教授 大谷 友男 …… 131
- 富山県におけるユニバーサルツーリズムをテーマとする観光コンテンツ開発と
若手観光人材の育成プログラムに関する研究
現代社会学部 現代社会学科 准教授 一井 崇 …… 141
- 生活科・総合の単元づくりに関するオンライン研修サポートの開発
子ども育成学部 子ども育成学科 教授 三原 茂 …… 145
- 在留外国人子女に向けた道徳教育の現状と課題に関する調査研究
子ども育成学部 子ども育成学科 講師 辻 和希 …… 155

高岡法科大学

- 憲法史的脈絡を踏まえた戦後改憲論の分析
法学部法学科 准教授 荒邦 啓介 …… 163

富山短期大学

- 富山県の里親への養育プログラム（前向き子育てトリプル P）導入の効果と心理専門支援ニーズの検討
幼児教育学科 准教授 嶋野 珠生 …… 169
- 日本海沿岸地域の港湾振興に関する地方紙社説の研究 ―地域の再認識の視点を中心に―
経営情報学科 講師 長田 元 …… 179

富山高等専門学校

- 「支援技術普及の場」の提供を目指した社会実装支援システムの開発
電子情報工学科 准教授 秋口 俊輔 …… 187
- 微細血管群から動脈までを網羅する完全非侵襲リアルタイムイメージング血流計測
商船学科 講師 小林 大 …… 193
- On the Anti-Chivalric Hero in Book 2 of The Faerie Qveene
一般教養科 助教 陳 璐 …… 197
- 倉庫内レイアウトを考慮した移動ロボット群の同期現象に基づく自律分散制御
電気制御システム工学科 助教 吉田 晃基 …… 203
- 富山県における観光まちづくり
国際ビジネス学科 准教授 宮崎 衣澄 …… 207